

活動報告

創作ワークショップ 印象派の技法で描く！



南薫造が学んだ印象派の絵画に挑戦です。



まずは、作品と一緒に鑑賞し、これから模写する作品を決めます。



ペインティングオイルの使い方など、先生の説明を聞きます。



選んだ作品のコピーの裏に、木炭をぬり、キャンバスに写します。



次は下塗り。イエローオーカーを使う人が多いようです。二層目からは、だんだん濃い色をのせていきます。



全体像が見えてきました。

今回の創作ワークショップは、特別展「南薫造と教え子たち」に関連し、南が学んだ「印象派の技法」を学ぶ講座でした。

講師に、大路誠先生(洋画家・野呂山芸術村交流員)をお迎えしました。

まず、先生から南薫造が学んだ印象派についてお話を聞いた後、作品を鑑賞しました。印象派の技法を用いて描かれた南の作品の中から、自分の描きたい作品を選びます。

次に、基本的な画材について説明を受けます。ペインティングオイル(のり剤に薄め液を混ぜたもの)やテレピン油の使い方、色の使い方について丁寧に説明をしてくださいました。いよいよ、制作開始です。自分の選んだ作品のコピーの裏に木炭を塗り、上からなぞってキャンバスに写します。転写が終わると、下塗りをします。薄い色から、だんだん濃い色を重ねていきま

す。先生にアドバイスをしてもらいながら、印象派風の特徴が表現された油彩画が完成しました。

今後も、高校生・一般の方を対象にしたワークショップを企画していこうと思いますので、皆様どうぞご参加ください。

[* 教育普及のページに戻る *](#)

Copyright©Kure Municipal Museum of Art all rights reserved.